

わが子よ、私の教えを忘れるな。心に私の命令を保つようにせよ。長い日々と、いのちと平安の年月があなたに増し加えられるからだ。 箴言3章1、2節

暑い夏もようやく終わりましたがこれがこれらの季節は台風が心配になります。震災、風水害など、近年の日本は毎年災害に見舞われています。けれども、歴史を振り返れば、

人はいつも自然の脅威と戦っていました。河川の氾濫、日照り、干ばつで飢饉に見舞われるなど、人々のいのちは自然の脅威に翻弄されました。それが文明の発達と共に自然の脅威に負けない社会が構築され、暮らしは豊かになりました。人間の技術が生活に大きな安定をもたらしたのです。

人の寿命も伸びています。大昔の人々は不老長寿を求めましたが現代では多くの人が

が長寿となりました。今の時代の人々は、神の助けなくして「長い日々と、いのち」を得たと思っていないのでしょうか。

以前、高齢者が自死をされたという痛ましい出来事がありました。遺書には、生き甲斐が感じられなくなったという趣旨のことが書かれていたそうです。ほかに、高齢化と共に認知症になることや体が動かなくなること、を恐れる方もいます。歴史上、稀にみる長寿国を達成した現代の社会ですが、長生きしても悩みは尽きないのです。

箴言は、神に信頼する人には「長い日々、いのちと『平安』の年月が」加えられると語

ります。聖書が示す「長い日々」とは地上生涯での長寿という以上に、神のいのちにあずかる永遠のいのちを意味します。それはこの地上だけに留まるものではありません。

そして、そこには「平安」が伴います。平安、それはシャロームです。神と他者とそして自分自身と穏やかな心で対峙できるということです。信仰者といえども、この世の災害や困難から逃れられません。時には若くして天に召される人もいます。しかし、主に頼んで生きる人は、この世の寿命の長さや暮らし向きでは計り知れない恵みと望みに生きて神の栄光を現すのです。

現代人の多くは神は必要ないと思っていられるかもしれませんが、神に頼り頼んで生きることが示されなければならぬのではないのでしょうか。(泰)

【報告 消息】

・石田敏則牧師 本日は、横浜教会へ出向です。礼拝説教と役員会出席があります。石田先生の働きのために、お祈りください。

・先週は敬老の祝福を祈る時を持ちました。教会よりお送りした敬老の祝いについて、感謝の連絡や近況が寄せられています。

・林眞光修養生 10月1日に夏季実習を終了して聖宣神学院へ戻ります。

【本日の配布物】

- ・ 8 月教会会計報告
- ・ 10 月祈禱カレンダー
- ・ OMF ニュースレター 10 月号

【今週の予定】

・ 28 日 電話工事  
電話の入替工事を行うため、電話が繋がらない時間が生じます。

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください

■ 9月20日礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 33名  
第2礼拝 24名  
小学科礼拝 小3名 中高2名

■ 10月の礼拝説教箇所

4 日 列王記第一①  
11 日 列王記第一②  
18 日 列王記第二①  
25 日 列王記第二②

■ 創立86周年記念感謝献金

35名 207,000円

(9/20 現在)

・シオン86年の歩みが主に支えられ、その間に私たちがそれぞれに教会に導かれたことを思いながら加わっていただけたらと願います。

・日頃の皆様からの尊い献金を感謝申し上げます。月約献金なども、郵送、銀行送金、平日に教会にお届けくださるなど、様々な形で献げてくださりたいへん感謝です。お陰様で、厳しい状況の中にも教会会計は支えられています。

引き続き、お祈りもよろしく願います。